

新機能 (2022年9月)

TREND-FIELD (2022年9月) の新機能
をご紹介します。

※解説内容がオプションプログラムの説明である
場合があります。ご了承ください。



目次

新機能



TREND-FIELD

(2022年9月)

1 メイン・共通 P.1

1-1 CIMPHONY Plus連携対応 _____ 1

2 CAD P.5

2-1 塀の幅の入力に対応 _____ 5

2-2 測点を点として出力に対応 _____ 6

1 メイン・共通

メイン・共通の新機能をご紹介します。

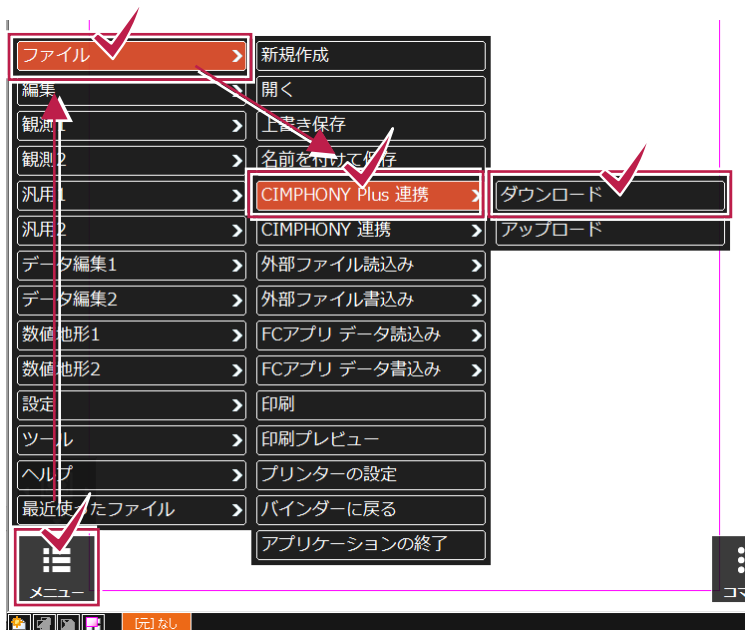
1-1 CIMPHONY Plus 連携対応

TREND-FIELDの観測データ/座標/CAD/写真/縦断観測データ/横断観測データ等をCIMPHONY Plusを経由して、ONEにデータ連携できるように対応しました。

FCソリューションで従来から作成・管理されていたデータをCIMPHONY Plusで共有することで、作業の効率化が可能となります。

●CIMPHONY Plusから、TREND-FIELDにデータをダウンロードする手順

1. [ファイル] – [CIMPHONY Plus 連携] – [ダウンロード] コマンドをタップします。



2. CIMPHONY Plusのログイン画面が表示されます。
メールアドレスとパスワードを入力して
CIMPHONY Plusにログインします。



3. CIMPHONY Plusの現場の一覧が表示されます。
ダウンロードするデータが保存されている現場を選択
します。



4. ダウンロード可能なファイルが一覧表示されます。
ダウンロードするファイルを選択して [ダウンロード]
をタップします。

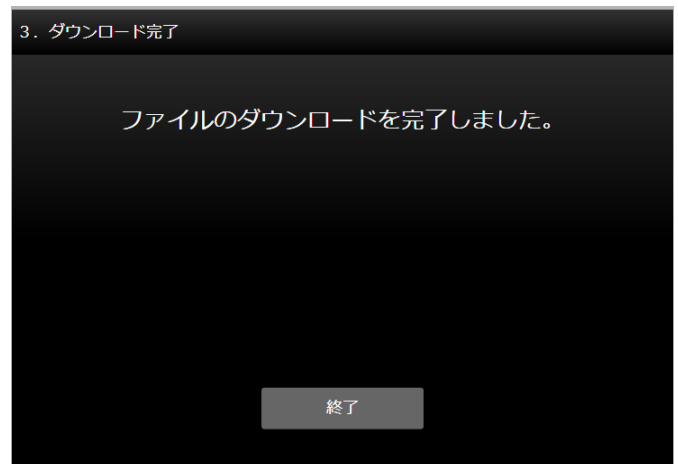
※ ダウンロード対象は、

- ・TREND-FIELD
- ・TREND-ONE
- ・Mercury-ONE
- ・EX-TREND武蔵

から出力されたXFDファイルです。

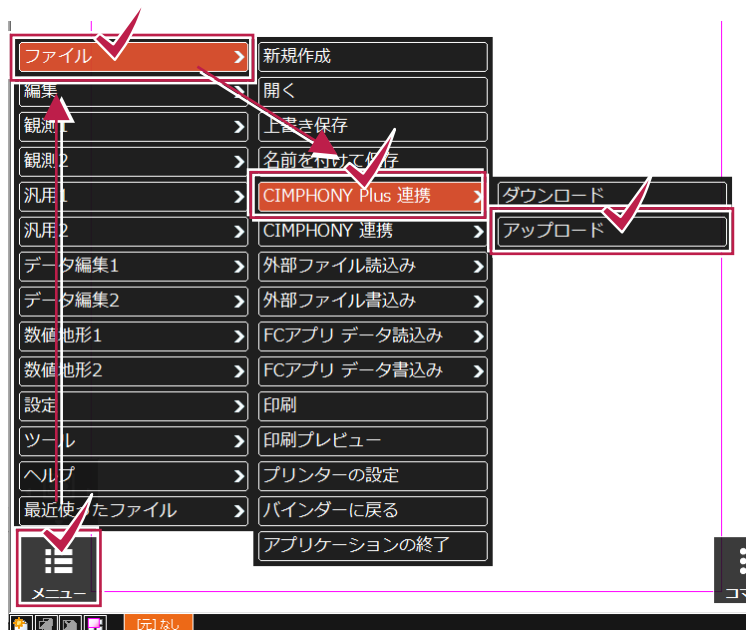


5. ファイルのダウンロードが完了したら、[終了] を
タップします。
ダウンロードしたファイルが開かれます。



● CIMPHONY Plusに、TREND-FIELDのデータをアップロードする手順

1. [ファイル] - [CIMPHONY Plus 連携]
- [アップロード] コマンドをタップします。



2. CIMPHONY Plusのログイン画面が表示されます。
メールアドレスとパスワードを入力して
CIMPHONY Plusにログインします。



3. CIMPHONY Plusの現場の一覧が表示されます。
TREND-FIELDのデータをアップロードする現場を
選択します。

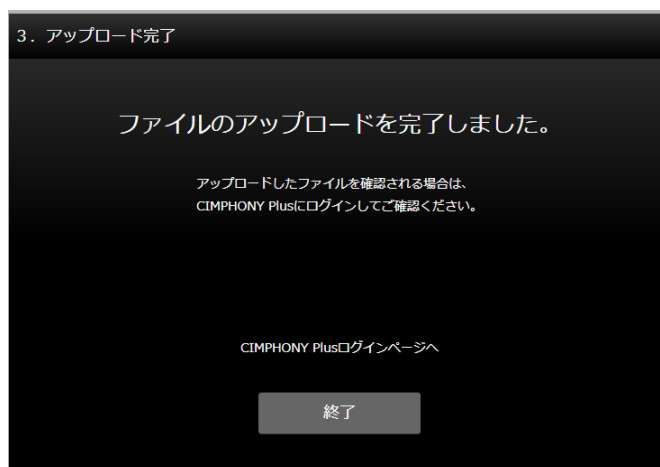
※ アップロード先のCIMPHONY Plusの現場は、事前に作成しておいてください。



4. アップロードするファイルの [ファイル名] を入力して、
[アップロード] をタップします。



5. ファイルのアップロードが完了したら、[終了] をタップ
します。



※ アップロードしたファイルは、CIMPHONY Plusの「連携」-「TREND-FIELD」-「FC連携ファイル」フォルダーに
格納されます。

アップロードしたファイルには、リンクファイル（写真や書類など）も含まれます。



2 CAD

CADの新機能をご紹介します。

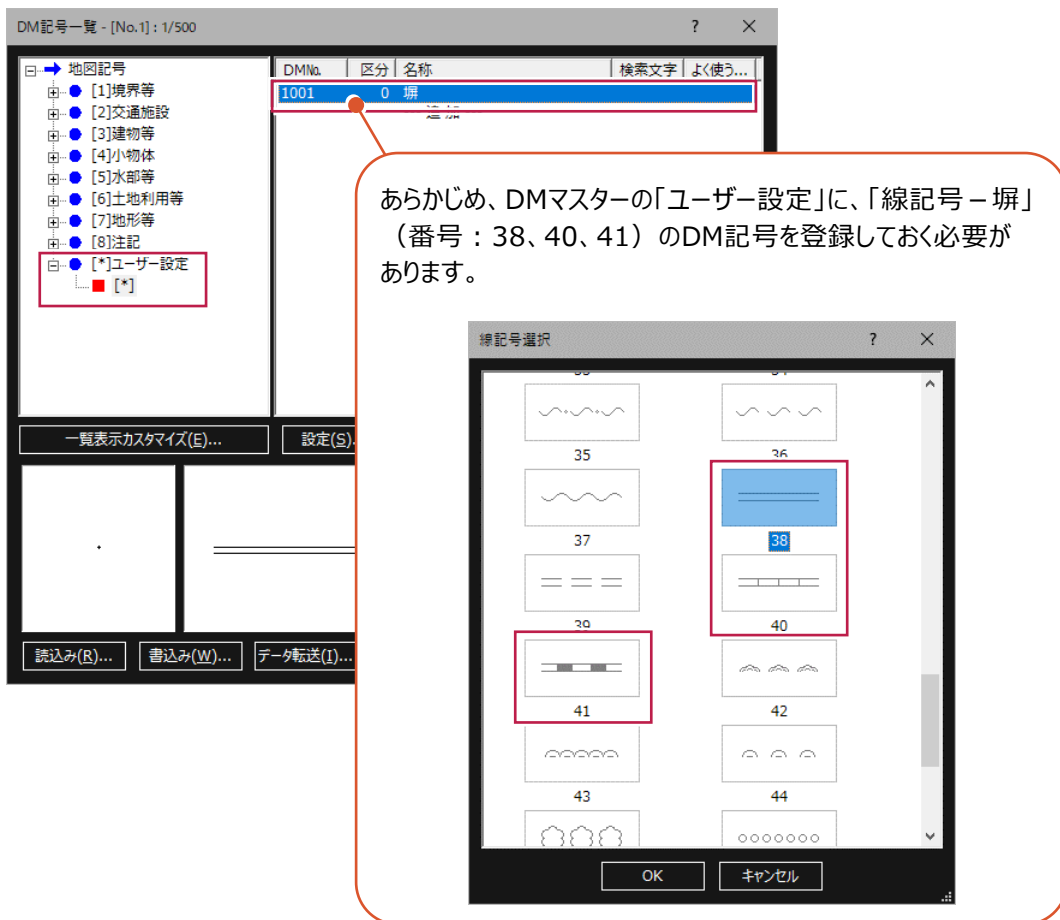
2-1 塀の幅の入力に対応

観測結線、線入力、特殊線の入力で、塀などの一部の属性に対して、塀の幅を入力できるよう対応しました。

入力時に、インプットバーに「塀の幅」が表示されます。



「塀の幅」が有効になるのは、DMマスターの「ユーザー設定」に登録した、「線記号 - 塀」（番号：38、40、41）のDM記号を入力する時です。

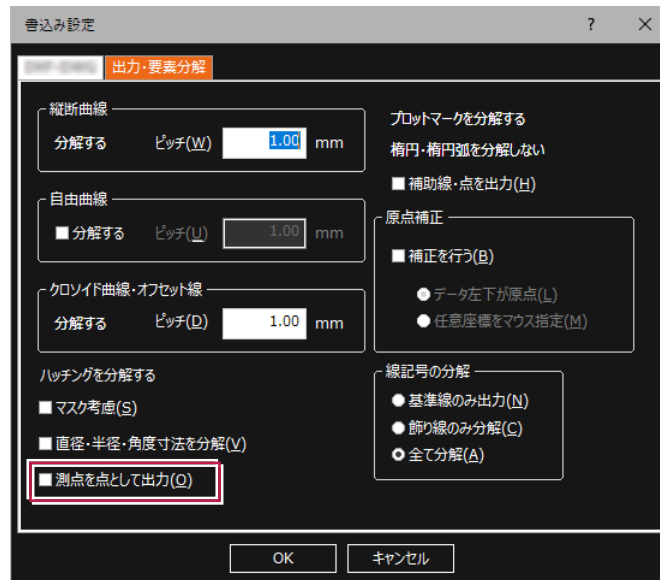


あらかじめ、DMマスターの「ユーザー設定」に、「線記号 - 塀」（番号：38、40、41）のDM記号を登録しておく必要があります。

2-2 測点を点として出力に対応

外部ファイル書込み – SXF、SXF一括、DXF・DWG、JWC・JWWで、測点を点として出力できるよう対応しました。

外部ファイル書込み時に、[測点を点として出力] チェックボックスを「オン」にすると、測点を点要素で出力します。点のサイズは1.0mm固定です。点番、点名は出力しません。また、点要素の標高（Z値）は出力しません。



※ SXF一括書込みの場合

